



新庄・最上地域再生に向けて 最も重要な路線です



凡例	高規格幹線道路	供用区間(高速自動車道路)	事業中	未整備区間	高速自動車国道と並行する一般国道自動車専用道路	地域規格道路	供用区間	事業中	整備区間	調査区間
	有料道路方式	新直轄方式	使用中	事業中	調査区間	整備区間	調査区間	整備区間	調査区間	整備区間

新庄酒田道路 延長=約50km(計画路線指定H6.12)

延長	余目酒田道路	立川～余目	戸沢～立川	戸沢村古口～草薙(約11km)	新庄古口道路	新庄南バイパス
	12.7km	約5km	約7km	約3km	約3.4km 高屋道路	約4km
	山形県 約50km					
調査区間	H9.9		H8.8	H16.3		H7.8
整備区間	H11.12			H18.3		H12.12
事業着手	H16			H18		H17
併用区間						H14.5

併用中 事業中 未着手

石巻新庄道路 延長=約110km(計画路線指定H10.6)

延長	山形県 約30km	山形県 約80km
----	-----------	-----------

地域高規格道路の事業の流れ

候補路線→計画路線→調査区間→整備区間→事業着手

「新庄・酒田道路」の早期実現に向けて!

山形県の横軸である「新庄・酒田道路」は、日本海側と太平洋側を結ぶ重要路線です。高速交通網は、災害時や緊急医療における「命の道」であるとともに、観光振興、企業誘致、地場産業における市場拡大など私たちの暮らしに密接であり、全国どこに暮らしていてもその恩恵を受けられるべきです。

また、酒田港が国の日本海側拠点港に指定され、対極東アジア戦略上、今後ますます重要性が増していくことから、「新庄・酒田道路」の必要性は今まで以上に高まっていくものと考えられます。

「新庄・酒田道路」の一日も早い完成を目指し、関係各位の皆様とともに頑張って活動して参ります。

山科とものり 議会での主な質疑

平成23年10月以降/山形新聞掲載分

10月1日 県議会行財政改革・危機管理対策特別委員会

- 大規模災害で隣県の行政機能や首都機能がダウンした場合の対応について
- ◎広域支援対策活動マニュアルを作成中

11月8日 県議会建設常任委員会

- 県が認定した住民団体や企業が河岸美化を担う河川アダプト事業の状況と今後の見通しについて
- ◎登録418団体、今後10年で倍増させたい

●道路の雪対策に関する防雪柵等の設置費用について

- ◎1メートル当たり15万～20万円概算で現在約215km、優先順位も踏まえて延長していきたい

11月12日 県議会建設常任委員会

- 公共工事減少などを背景とした建設業者の新分野進出状況について
- ◎環境、福祉、農業などを中心に10年度調査で29.4%まで上昇

11月22日 地域議員協議会

- 新庄泉田道路の整備方針について
- 県立新庄病院の機能強化と建て替えについて
- ドクターヘリのランデブーポイントの選定について
- ◎県内数百カ所を想定してリストアップ中

H24.1月19日 県議会建設常任委員会

- 県管理道路を対象とした除雪費の予算額と現時点での執行状況について
- ◎当初予算約41億円のうち、約54%の21億円を執行

H24.3月5日 県議会建設常任委員会

- 高速道路の追加インターチェンジ(IC)の設置はどのようにして決まるかについて
- ◎ICを設置する間隔は10kmとされているが、欧米の5kmに比較して長いとの指摘もあり、東北中央道については、主要な路線と交差する地点を意識して、米沢中央、東根北、村山北、村山大石田の4カ所を県が整備する方針

※用語解説 ①河川アダプト……アダプト(ADOPT)とは日本語で「養子縁組」を指します。ボランティアの住民や企業が「里親」になり、河川や海岸などの区域を「養子」とみなして、清掃植栽などの美化活動や啓発活動などを定期的に行うものです。②ランデブーポイント……ドクターヘリと救急車が合流するヘリコプターの離着陸場のことを指します。